

ゼロから学ぶ幾何公差図面の読み方

～図面の読み手目線でやさしく学ぶ、幾何公差入門講座～

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/241205>

- ◆日時: 2024年12月10日(火) 10:30～16:30
- ◆【WEB限定セミナー】在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: Material工房・テクノフレキス 代表 藤崎 淳子 氏

・本セミナーでは教科書として以下の書籍を配布いたします。

「幾何公差って、どない読むねん！」

藤崎淳子・山田学共著

<https://pub.nikkan.co.jp/book/b10086403.html>

◀ 習得できる知識 ▶

- ・幾何公差の概念と基礎知識を得ることで、幾何公差図面が解釈できるようになる
- ・設計者が図面上で誤った指示をしていても、自分自身で正しい意図を推測し、伝達できるようになる
- ・設計者自身があいまいな理解で幾何公差を適用している場合、それを見つけてフィードバックを行うことで、設計者ともども資質の向上につながる

◀ 講演の趣旨 ▶

幾何公差を記入した図面は以前から散見されます。さらに、2016年のJIS改正により図面に幾何公差を用いることが推進されているなかで、近年は幾何公差図面が多くなってきています。しかし、図面を描く設計者自身が正しい用い方を理解せずに幾何公差を記入する事例が後をたないため、実はほとんどの図面で幾何公差が誤った指示で描かれていることが問題になってきています。図面は、設計者と製造担当者だけが意思疎通できればよいものではなく、業務のバックグラウンドで図面を扱う関連部門のスタッフにも設計意図がつかめるものでなければいけません。そのためにも、図面に描かれた設計意図という重要情報を次のプロセスへそつなく伝達する関連部門のスタッフは、設計者に準ずる程度に幾何公差の正しい知識を得ておく必要があります。

本セミナーは、主なターゲット層を「実務で図面を読む仕事に就いている関連部門の方々」に定め、一見難しそうな幾何公差だけに特化して、概念と基礎知識をやさしく解説するものです。

◀ プログラム ▶

1.はじめに

- 1.1 幾何公差の必要性とグローバル図面
- 1.2 実力確認テスト(○×クイズ)

2.幾何特性の種類、計測機、データム(第1章)

- 2.1 加工でカタチが崩れる理屈
- 2.2 各種計測機器
- 2.3 データムの意味と図面ルール
- 2.4 幾何特性の種類と図面ルール

3.幾何公差の読み方と検査の仕方

- 3.1 形状偏差の領域と表記と検証の仕方(第2章)
- 3.2 姿勢偏差の領域と表記と検証の仕方(第3章)
- 3.3 位置偏差の領域と表記と検証の仕方(第4章)
- 3.4 振れ偏差の領域と表記と検証の仕方(第5章)

4.理解度確認テスト(○×クイズ)

『幾何公差【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>